

障がい者就労適材適所

ダンウェイ

【川崎】ダンウェイ（川崎市中原区、高橋陽子社長、044・740・8837）は、教育機関や企業の指導者が、障がい者の能力を可視化して効果的な個別の教育支援計画作成ができるクラウドサービスを7月下旬から提供する。人によって異なる障がいの状態や程度などを数値的に分析し、得意分野や苦手分野を把握。個々に適した指導計画や目標の策定が可能で、就労支援や障がい者雇用を進める企業の最適な人材配置、指導を支援する。

新サービスは指導者として各段階に適した目標が障がい者の状況を目標を設定し、達成に向けたクラウド上の規定フォーマットへ入力。フォーマット上にて定めた各指標に対して、対象者の能力を数字で示し、大きく職業能力と生活自立力に分類される能力やスキルを数値的に可視化する。

これをもとに得意分野や苦手分野を明確に先生、企業の指導担当

教育支援サービス

個々の能力・特性 数値化

高橋社長によると、障がい者教育の現場で使う個別教育計画は統一の書式がなく、「指導者の主観に近く、作業の負担も大きかった」という。将来は転職で就業場所が変わっても長期的に障がい者の自立を支援する仕組みの構築を目指す。

者の作業時間を削減可能。企業へ障がい者雇用のコンサルティングをする社会保険労務士への提供も検討する。また、現在、東京工科大学とともに蓄積データを人工知能（AI）で分析し、類似の障がい特性を持つ人に対して適した教材の選定などが応用できる機能の開発を進める。

学校の福祉事業者の先生、企業の指導担当